

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司後援会
発行元：座間市相模が丘3-24-2-203

おぎはら健司の市政レポート

『一般質問・自主財源確保実現へ！』

2020年の五輪開催地が東京に決定しました。この招致活動に熱意を注がれた歴代のメダリストの方々や、安倍総理や猪瀬都知事はじめとする皆さんのご苦労に心から感謝を申し上げます。

前回の東京五輪を知らない世代としては本当に楽しみですし、東日本大震災の際に世界各国から送られた支援への恩返しと、復興に向けた日本の底力を世界中に示す機会が来たことは、日本国民として、素直に嬉しく思います。

さて、現在行われている「平成25年第三回定例会」に於いて、9月5日（木）13時から、一般質問を行いました。今回の質問内容は、前号にてお伝えしたとおり「自主財源の創出」と「保育行政について」で、「保育行政について」では、前回の質問・答弁内容にも触れながら議論を進めました。

座間市には9園の公立保育園があり、相模が丘には相模が丘東と相模が丘西の二つの公立保育園がありますが、そのうち相模が丘東保育園は平成32年までの民営化が決定しております。

その他にも3つの公立保育園が民営化される計画ですが、一向に進まない民営化について行政の取組みの遅れについて指摘を致しました。

今回の民営化計画は、公立保育園では受けられない国からの助成金を活用して保育定数増を図り、待機児解消を図るための計画ですので、一日も早く民営化が実施され、待機児童解消が少しでも早く実現されるよう、引き続き注目してまいります。

そして、「自主財源の確保」についての切り口は前号にてお伝えしましたが、行政側からは「全面回答」に近い答えを引き出す事が出来ました！

入札制度の導入については早速取り掛かるとの答弁を引き出し、さらに私が提案を致しました自販機による「ざまみず」の販売や、「ざまりん」デザインやCO2削減のための超省エネ型自販機の導入等、それらを実現するための入札方式「総合評価方式」（金額だけでなく総合的な視点から決定する入札制度）の導入など、行政の全面的な理解を取り付けました。

これで、少なく見積もっても1千万円近い歳入の『純増』が図られるはずで、市民サービス向上に向け大きな実績を残す事が出来ました。

その一般質問の内容を含めた市議会の映像は、座間市HPにてご覧頂けますので、ぜひご覧下さい。恥ずかしいですが（笑）。

本日（9月9日）も、引き続き午前9時から本会議にて一般質問が行われる予定で、同じ会派の京免康彦議員と芥川薫議員が登壇をされます。

昨年の選挙の際、相模が丘地区のように市境にある地域では防災行政無線が聞こえにくいという点の解消策として「行政無線の広域行政化」という提案をお約束させて頂きましたが、今回の一般質問に際し、芥川議員が行政無線についての質問を行うとの事でしたので、市境地域の広域行政化についても触れて頂くようお願いを致しました。

防災行政無線については、平成26年度からデジタル化を導入すると同時に、15の子局を増設する計画となっておりますので、相模が丘地区はじめ、難聴地域の解消にむけ大きく前進が期待されます！

座間市ならではの防災訓練！

去る8月31日（土）、相模野小学校に於いて座間市防災訓練が実施されましたが、座間市にはご存知の通り、陸上自衛隊座間駐屯地と在日米軍座間キャンプがあり、今回の防災訓練では、その二つの施設にもご参加頂き、大規模な訓練が実施されました。

そうした施設があることで、他の地方自治体では出来ない様々な対応が出来るのも座間市の特色として、肯定的に受け止めたいと思います。

写真は陸上自衛隊によるカレーの炊き出しですが、これも座間に陸自があるからこそその連携です。



当日は、座間市消防本部・座間市消防団・陸上自衛隊・在日米陸軍による人命救助作戦や道路復旧など、座間市ならではの様々な防災訓練が展開されましたが、残念ながらマスクミではこうした良好な関係をもとにした連携の現実が報道されないのが現状です。